



野木小学校だより

野ぎくの子

校長室から 2023/5/22

2023年度 学校教育目標

「自ら問い 自ら考え 自ら行動する」

【めざす児童像】

よく考える人・自分や人を大切にする人・チャレンジする人



新緑の中を 歩いた・描いた・遊んだ

4月28日には、すがすがしい青空が広がり、さわやかな風が吹き抜ける中、春の遠足を行いました。コロナ禍で過去3年間は中止や日程を縮小していましたが、今年は全日に戻して、文字通りの「遠足」となりました。行先は瓜割名水公園と市姫グラウンドです。瓜割名水公園では写生をし、市姫グラウンドではお弁当を食べた後、全校遊びと縦割り班遊びで楽しい一時を過ごしました。

帰路になると気温も上がり、さすがに低学年はかなり疲れた様子が見えましたが、上級生が手をつないだり、荷物を持ってあげたり、励ましの声をかけたりなど、野木っ子の優しい一面が垣間見られました。おかげで誰一人リタイアすることなく、全員が約10kmの道のりを完歩しました。



前期児童会役員のお抱負



児童会長 6年 荒木翼沙さん

野木小学校のみんなは一人一人が明るく元気に学校に通っています。みんなで協力して助け合うこともできます。だからこれからも、みんなで協力して助け合っていきたいです。私はこれから楽しい企画を考えて、もっとみんなが野木小学校を楽しみたいと思うようにしていきたいです。

児童会副会長 6年 内藤朱里さん

野木小学校は、ろう下や階段を走る人が多いので、走る人が少なくなるようにしていきたいです。ろう下や会談を走るとケガをする可能性があるので、一人一人心がけていきましょう。

児童会書記 6年 鈴木慶吾さん

野木小学校のみんなは、明るく元気にあいさつができます。そして仲もよくて笑顔いっぱいです。だから、これからも続けて、もっと良い学校にしていきたいです。

～6月のおもな行事予定～

- 6月 1日 (木) 体育大会予行練習
- 6月 3日 (土) 野木地区体育大会 (小学生の部) 12時頃に保護者と下校
- 6月 4日 (日) 体育大会予備日
- 6月 5日 (月) **体育大会の振替でお休み**
- 6月 6日 (火) ～30日 (金) 午前5時間制試行期間
※全学年が15:30に一斉下校します。
- 6月 8日 (木) プール掃除
- 6月12日 (月) 5年生あいさつ運動週間 (～16日)
町教育研究会 14:30一斉下校
- 6月15日 (木) 前期校内研究会
- 6月19日 (月) プール開き
- 6月29日 (木) 学校公開日 (2限 10:30～11:10 3限 11:20～12:10)
※地域の皆様も自由にご参観ください。



(前庭の石像を見ながら)この人は誰でしょう？ 背中にたき木を背負って本を読みながら歩いていますね。これは二宮金次郎という人の像です。二宮金次郎の像は野木小学校だけではなく、日本中のたくさんの学校に建てられています。でも、この二宮金次郎がどんな人で何をしたのかはあまり知られていません。今日は二宮金次郎のお話をします。

二宮金次郎は今から約200年前、江戸時代の終わりに活躍した人です。今の神奈川県の小田原というところの農家に生まれました。金次郎が生まれた頃は家には田んぼや畑がたくさんあって、とても豊かだったのですが、大雨で川があふれて田んぼや畑を失って貧しくなっていました。そしてお父さんは金次郎が14才の時に亡くなり、お母さんは金次郎が16才の時に亡くなりました。そこでおじさんの家に預けられて、田んぼや畑の仕事を一生懸命にしました。やがて、おじさんの家から独立すると、自分の生まれた家に戻り、お金を節約しながら一生懸命働いて、24才の時には生まれた頃のような裕福な家に立て直しました。その話を聞いて、あるお金に苦しんでいた武士の家に立て直しを頼まれ、これも成功しました。すると今度は、ある町の立て直しを頼まれて見事に立て直し、金次郎のうわさはどんどん広まって、一生のうちに600以上の町や村を立て直したと言われています。つまり二宮金次郎は偉大な「立て直し屋」だったのです。この功績をたたえて、金次郎は農民でしたが武士の位を授けられて、二宮尊徳(たかのり、そんとく)という名前になりました。金次郎は70才の時に、栃木県の日光という所で亡くなりました。



さて、なぜ二宮金次郎の話をしたかという、この人は学校の目標の通り、まさしく「自ら問い自ら考え自ら行動する人」だと思ったからです。今から、金次郎の出来事について3つのクイズを出しますから、その時金次郎はどんな行動をしたか考えてください。

第1問 金次郎が13才の頃、子守りの仕事を終えて家に帰る途中に、川の土手を歩いていると、木の苗を売っている人に会いました。その人は売れ残った松の苗を200本ほど持っていたので、子守りのお駄賃でその苗木を全部買いました。金次郎はその苗木をどうしたでしょうか。

- ①家の周りに植えて、風や砂から家を守った ②知り合いのお金持ちに高く売ってもうけた
③川の土手に植えて土手をじょうぶにした

(◎)村梅王

第2問 家を出ておじさんの家に住むことになった金次郎は、昼は一生懸命に働き、夜は遅くまで本を読んで勉強しました。でも、おじさんはあかりの油代がもったいないから勉強なんかしないで早く寝るように言いました。さて金次郎はどうしたでしょうか。

- ①外へ出て月の光で本を読んだ ②自分で菜の花を育てて菜種をとって油と交換した
③本を読むことをあきらめて早く寝て、昼間に今までよりも一生懸命働いた

(◎)村梅王

第3問 金次郎が畑を耕していたら、くわがこわれて、となりの家に借りに行きましたが、となりの家の人も自分の畑を早く耕さないといけないのですぐには貸せないとされました。金次郎はどうしたでしょうか。

- ①となりの家の畑を先に耕してあげた ②くわの値段の10倍のお金を払って売ってもらった
③くわの作り方を勉強して自分でくわを作った

(◎)村梅王

金次郎はとても親孝行で、働き者で、よく勉強をして子供のお手本とされてきたので、今から100年ほど前の昭和時代の初めころから全国の小学校に像が建てられるようになったそうです。金次郎の素晴らしいところは、子どものときに学んだことを、大人になってから、自分のためだけではなく、たくさんの人たちのくらしをよくするために生かしたことです。今は金次郎の活躍した頃から200年がたち、時代がすっかり変わりましたが、いつの時代にもお手本にしたい立派な人です。みなさんも金次郎のように勉強をがんばって、大きくなったらくさんの人を幸せにしてください。



金次郎が育てた松並木